



News Release

2024 年 3 月 27 日

「重いランドセル」解消に関東の私立小学校を中心に脱ランドセル化進む 創業 50 年、国内縫製のランドセル型リュックが子どもの健やかな成長を守る

～ 2024 年 4 月から東京都内有名私立小学校はじめ 3 校で新たに採用。学校ごとにカスタマイズ ～

厚手素材や特殊素材の縫製加工技術を生かして学校カバン、防災、自動車用品などを生産する株式会社ダイワホーサン（本社：奈良県宇陀市、代表取締役：辻本小百合）は 1987 年より学校カバンの企画開発を始め、これまで全国 100 校以上の学校で採用されており、現在は明星小学校、東星小学校、帝塚山中学校・高等学校を始め、46 校で採用されています。近年、重いランドセルによる子どもの心身への負担が社会問題化していることから、関東の私立小学校を中心に学校指定カバンをランドセルからリュックに変更する学校が増加。2024 年 4 月からは学校法人桐朋学園 桐朋学園小学校はじめ新たに 3 校で当社のランドセル型リュックが採用され 2025 年においても、数校の新規校での採用が決定しています。

重いカバンは子どもの身体・精神面にも負担が

一般社団法人 教科書協会の調査によると、2005 年度に比べて教科書は大判化しており、2023 年度の合計ページは約 1.8 倍で、さらに年々増加傾向です。また、タブレット端末の持ち運び、感染症対策のため教育現場で水やお茶の提供が廃止され、児童が水筒を持参するケースが増えたことなどから、10kg 以上の荷物を背負って通学している子どももいます。荷物の重量化は依然改善されません。

重い荷物を背負うことによって肩や腰、首、腕の痛みを訴えたり、登校を嫌がる児童もいることから、専門家も警鐘を鳴らしています。当社は児童の健康を守るため、信州大学や奈良高等専修学校と共同研究を行い、背負った際に軽く感じるランドセル型リュック「D ランドセルシリーズ」を開発、これらをベースに学校の要望に応じて機能やデザインをカスタマイズしています。



サイズ H37×W26.5×D15 cm (14.7L)



介護用品、救急車部品や新幹線の構造材も製造する技術力の高さ

当社は国内工場ではベテランの職人が介護用品や救急車の内装、鉄道資材等も作っており、様々な生地を扱うことで培った高い技術力により、各学校の要望にこまやかに対応することが可能です。

学校の要望には時勢も反映されており、例えば、登下校時のゲリラ豪雨対策として、カバンの中まで濡れることを防ぐため、従来製品の水や汚れを弾く高品質の生地と雨水の侵入を防ぐチャックに加え、ふたとなる「かぶせ」を追加する、タブレット端末専用ポケットを指定場所に付ける、リュックのカラーを LGBTQ 問題に対応しやすいブラックや紺にする等です。

今後も心身の負担の少ない通学カバンを普及することで、子どもの健やかな成長を守っていきたいと考えています。

体の負担を軽減するためにどのように設計するのが良いかを調査



介護製品にも使うメッシュ素材を使用。通気性も高く、汗をかいてもカバンが背中に張り付かない

本件に関するメディアからのお問い合わせ先

株式会社ダイワホーサン 広報担当：辻本明日香 TEL：0745-83-2785 FAX：0745-83-3524

〒633-2103 奈良県宇陀市大宇陀野依 220-3

ホームページ <http://daiwahosan.com>

■会社概要

社名	株式会社ダイワホーサン
所在地	〒633-2103 奈良県宇陀市大宇陀野依 220-3
資本金	3000 万円
代表者	辻本小百合
社員数	30 名
設立	1966 年 3 月 3 日創業、1988 年 7 月 2 日設立
事業内容	■カバン関連 学校指定通学かばん 次世代型ランドセルリュック（D ランド） ■列車・自動車用品関連 日除けスクリーン・自動車部品・特殊車両の内装品・列車用カーテン 列車の床材 ■福祉・介護関連 身障者用車椅子の補助具 身障者用生活補助具・布担架 ■防災関連 列車用労災用品・列車用避難用滑り台・ライフジャケット 製鉄所向け労災用品